

## G-2200D 施工要領

### 1. 下地処理

- ・旧塗膜の付着物（海中生物、汚れ）をスクレーパー等でキレイに除去します。  
油分等はペイントシンナーでキレイに拭き取ってください。はがれかかった旧塗膜はスクレーパーでキレイに除去します。
- ・素地が露出している部分は#240～#320ペーパーで研磨してください。
- ・全体を十分に水洗いし、塩分やホコリを落とし、十分に乾燥させます。
- ・下地処理は念入りに行ってください。不十分な場合、塗料の付着力が得られないことがあります。

### 2. 養生

- ・塗料がついて困る部分をマスキングします。

### 3. G-11プライマー塗装（下塗り）

- ・塗料は主剤 12：硬化剤 1 で、正確に調合し十分に攪拌します。  
（少しずつ小出しで調合する場合は、調合前に主剤を底から均一に充分攪拌しておいてください）
- ・塗装は毛先がよく揃った上級のニスバケまたは上級のローラー（短毛または中毛）を使用して横塗り（一方向）で塗装し、ハケをあまり返さずに塗ってください。スプレー塗りの場合はタレないように厚めに均一に塗ってください。
- ・塗りにくい場合は G-11 プライマー専用シンナーで 0～10%希釈します。
- ・やむを得ず作業を中断する場合は、小出した容器の口をサランラップ等でこまめに密封するようにしてください。  
また、ハケやローラーは G-11 プライマー専用シンナーを入れた容器の中に浸しておき、使用の際はシンナーをよく拭き取ってから塗装すると便利です。
- ・塗装後 2～24 時間の間に G-2200D を上塗りしてください。

### 4. G-2200D 塗装（上塗り）

- ・塗料は主剤 A：主剤 B：硬化剤 = 9：3：1 の比率で、それぞれ必要量を正確に計量しておきます。  
まず主剤 A：主剤 B = 9：3 を調合し十分に攪拌します。次に硬化剤 1 を調合攪拌した主剤（A + B）の中に入れ、十分に攪拌します。（少しずつ小出しに調合する場合は、計量前に主剤 A、主剤 B、硬化剤は底から均一に充分攪拌しておいて下さい）
- ・G-2200D は特に乾燥が早いので、2 時間位で使い切る量を塗装直前に少しずつ容器等に小出ししながら塗装します。  
G-2200D の元の容器は取り出しの都度、必ず密栓保管してください。
- ・スプレー塗りの場合はタレないように均一に塗ってください。
- ・ハケ塗り塗装は毛先がよく揃った上級のニスバケで均一に塗装します。乾燥が早いので何度もハケ返しをせず横塗り（一方向）で手早く一気に塗り上げるようにしてください。  
塗りにくい時は G-2200D 専用シンナーで 0～5%希釈します。
- ・やむを得ず作業を中断する場合は、小出した容器の口をサランラップ等でこまめに密封するようにしてください。  
また、ハケは G-2200D 専用シンナーを入れた容器の中に浸しておき、使用の際はシンナーをよく拭き取ってから塗装すると便利です。
- ・1 回目を塗装後 1～3 時間の間に 2 回目を塗ります。塗膜が薄く下が透けている場合は同様の間隔で 3 回目を塗ってください。調合塗料の可使用時間（ポットライフ、1～3 時間）が短いので塗り重ねの都度、必要な量を調合してください。
- ・塗膜が薄いと生物が付着しやすいので膜厚は塗装仕様に基づき十分に確保してください。

### 5. 下架没水

- ・塗装後下架までの時間は 24 時間以上、乾燥させてください。

### 6. 注意事項

- ・気温 5℃以下、湿度 85%以上、表面結露が見られる場合は塗装を避けてください。
- ・乾燥するまでの間に降雨、降雪、強風が予想される場合は塗装を避けてください。
- ・塗料が皮膚に付着した場合は、カブレの恐れがあるので、直ちに石鹼等を使用して水で充分洗い流してください。
- ・用具の手入れは、それぞれ希釈する専用シンナーまたはラッカーシンナーをご使用ください。